

自分の国を守るということは、外国軍米軍の日本沖縄占領をやめさせること。占領69年の2014年を主権回復へ始動の年に「平和的で責任ある政府が樹立されたとき、連合国の占領軍は、直ちに日本国から撤退しなければならない」ポツダム宣言

～ 沖縄・日本から米軍基地をなくす草の根運動 ～

# 草の根ニュース

■連絡先(東京) : 〒150-0042  
東京都渋谷区宇田川町19-5 山手マンション1001  
■沖縄連絡先 : 池宮城紀夫 (弁護士)  
沖縄県那覇市樋川1-16-38 那覇第1法律事務所  
■電話・ファックス : 03-3461-5758 090-4175-2010(平山基生)  
■メール : kusanone@world.ocn.ne.jp  
■ホームページ : http://www.kusanone.org  
■郵便振替口座 : 00190-5-611535 (主権回復カンパ 随時大歓迎)

## 「政府の行為によって再び戦争の惨禍が」

2014年8月15日、69年目の敗戦・終戦記念日がめぐってきました。

全国戦没者慰霊式が例年のように執り行われました。天皇も昨年に続いて「戦争の惨禍が再び起こらないように祈ります」と述べました。

日本国憲法は、ただ単純に「再び戦争の惨禍が起こることのないように」と述べているのではありません。「政府の行為によって再び戦争の惨禍が起こることのないやうにすることを決意し」と述べているのです。まさに戦争は、津波や、地震や、台風のような自然災害ではなく、人間で構成される集団である「政府の行為」によって起こるのです。

この政府の行為に対比して日本国憲法は「ここに主権が国民に存することを宣言し」と述べ、続いて「この憲法を確定する。」と結んでいます。「戦争の惨禍が」の次の文章は、下の見

**「起こることのないようにすることを決意し、ここに主権が国民に存することを宣言し、この憲法を確定する」** (日本国憲法前文)

320万人という、数字にして算えることが不遜だと言ってもいい日本人の失われた命の数。2000万人とも言われるかけがえのない命を奪われたアジアの人々。6000万人とも言われるおぞましい数の世界の戦死者の一つ一つのかげがえのない命。

1945年10月24日に発効した国際連合憲章は次の文章から始まっています。

「われらの一生のうちに2度まで言語に絶する悲哀を人類に与えた戦争の惨害から将来の



「国民の敵」安倍晋三、第50回矢臼別平和盆踊りで

出しの文章です。この文章の主語は「日本国民」です。

世代を救い」その目的達成のための努力を結集するために「国際連合という国際機構を設ける」というものです。

戦後9年の1954年生まれである「大日本帝国主義者」安倍晋三氏は、「戦争だけは起こしてはならない」という、この人類史的な悲痛な教訓から何も学んでいません。「戦争の惨禍」をもたらす「政府の行為」こそ安倍政権の「集団的自衛権」行使容認というクーデターの解釈壊憲です。北海道矢臼別の自衛隊管

理のれっきとした米軍基地で行われた第50回平和盆踊りは、千人近い人々が結集して成功しました。そこには、安倍晋三氏の似顔絵に「国民の敵」と大書されていました。(写真)まさに、憲法が政府を縛るという立憲主義を踏みにじり、戦争と戦力を放棄するという日本国憲法の平和主義を戦争主義・軍国主義にかえ、全土基地方式の亡国のアメリカの属国を永久化する辺野古への新基地を強行する売国政治家は、「国民の敵」というべきであり、即刻退陣させなければならない安倍首相です。

禍」の文章に続いて「われらは、これ〔国民主権の原理〕に反する一切の憲法、法令及び詔勅を排除する」と高らかに述べています。「集団的自衛権行使」容認の閣議決定は、国民主権の原理に反する「法令」の中に入ります。この法令「集団的自衛権容認」を排除することは、国民的憲法的決意であって、これこそ国民主権の発動であることに確信を持ち、安倍内閣を倒し、その背後にいる米政府の権力米軍を日本沖縄から断固として排除して、戦後69年続く占領を終わらせ、主権を回復し独立と憲法の実現を目ざそうではありませんか。

日本国憲法は、「政府の行為による戦争の惨

### 矢臼別第50回平和盆踊り成功

#### 北海道と全国から約1000人結集、米海兵隊砲撃演習に反対

矢臼別平和盆踊り実行委員会は、「第50回記念・矢臼別平和盆踊り 8月9日18:00開会(雨天決行) 於・北海道別海町矢臼別 川瀬牧場 演習場のどまん中」を開催し、北海道は

もとより全国からの参加を呼掛け、千人近くが集まり成功しました。

全土基地方式という在日本沖縄米軍基地の実態を、参加者は肌で感じていました。

### 基地なくす会(仮称・超党派で個人加盟の全国組織)を作らしましょう

#### 共同統一戦線結成とその上に立つ憲法実現政府をめざし

沖縄・日本から米軍基地をなくす草の根運動は、草の根ニュース80号(第2部)で「米軍占領百年を、断じて、許さず」と題し、基地をなくす超党派の個人加盟全国組織の結成と政党団体個人による共同統一戦線形成で「基地をなくす憲法実現政府」めざし、日本沖縄の米軍占領百年を許さない市民アクションプログラム案を発表しました。この呼びかけにこたえる動きが、始まっています。全国組織が結成されたらそこに合流することを規約必見!

又は申し合わせに明記し、日本の主権回復へ心ある方がたが、「基地なくす[誰誰どこそこ]の会」を、1人でも2人でも知人友人家族など又は日本全国で連絡を取ってもよし、地域職場学園でもよし、絆を作り、とりあえず、オスプレイ撤去・普天間基地閉鎖および辺野古・高江新基地建設反対署名を集めることや、草の根運動会員を増やすことも視野に入れた活動が提案されています。署名活動が次第に盛り上がりを見せ始めました。

Mail : info@jicl.jp 法学館憲法研究所

### ◆『標的の村』上映会 東京・渋谷で 11月7日

日本人必見! 米軍が標的としている村はどこに? ベトナム? 日本沖縄? いつのこと?

●日時: 2014年11月7日(金)

第1回上映午後3時(予定)(開場午後2時半)

第2回上映午後6時30分(予定)(上映時間91分)

●会場: 法学館ホール TEL: 03-5489-2153

住所: 〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町17-5

【JR 渋谷駅 南口】【地下鉄渋谷駅】各徒歩約1分

●参加費: 800円(当日1000円) ※チケット5枚で3000円

●主催: 渋谷革新懇 後援 沖縄・日本から米軍基地をなくす草の根運動他